

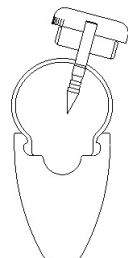
# TUBELESSCUE(チューブレスキュー) 取扱説明書



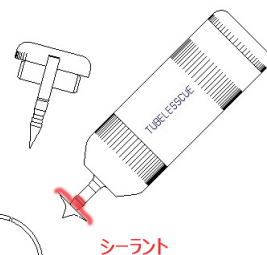
1.パンク穴を見つけます。



2.TUBELESSCUE 本体尻鉾にある針で穴を塞ぎます。

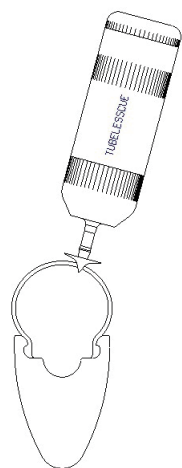


3. 針を根元まで差し込み、この状態でしばらくタイヤに空気を (60 ~ 80psi) 入れます。

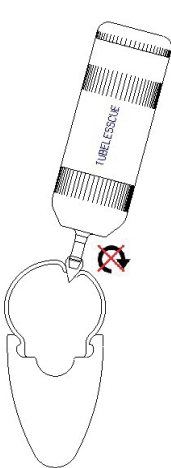


シーラント

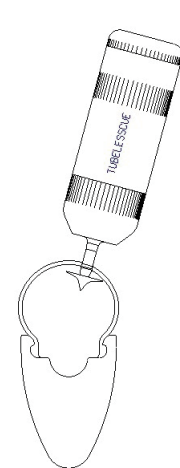
4. セットした TUBELESSCUE のゴム部裏側へシーラントを塗ります。針を抜くと同時にゴムの先端を穴に軽く押し当てます。



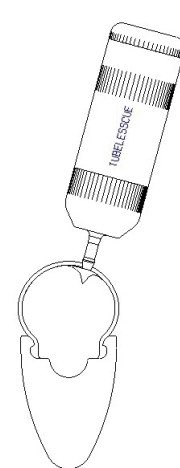
5. パンク穴にゴムが正しく当たると空気は止まります。穴位置とゴム先端がずれていると空気が漏れるので、漏れなくなる位置に再度、合わせてください。



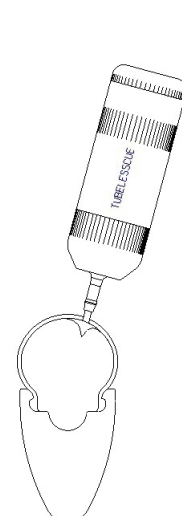
6. 位置が決まったらそのままタイヤの中心に向けてまっすぐに強く押し込みます。  
※回しながら入れるとゴムが切れます。



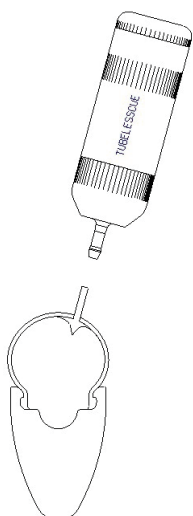
7. ゴム部分がタイヤの中に入ったのを確認したら、ゆっくり引き上げます。



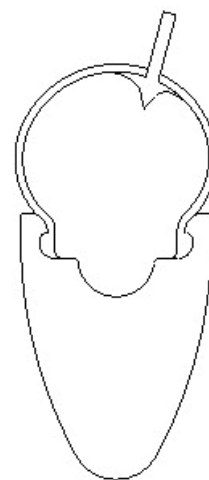
8. タイヤの内側とゴムが密着するように少し引っ張ります。



9. そこからさらに 3mm ほど引き上げゴムにテンションがかかっている状態を、20 秒程度維持します。  
(空気漏れが止まるまで待ちます)



10. シーラントが止まるのを確認したらさらに強く引き上げゴムを切り離します。



11. 空気を指定圧まで上げます。  
エアーが漏れないのを確認したらこれでパンク修理は完了です。  
はみ出ているゴムは漏れがないのを確認した後に本体の中に入っているカッターで切ってください。

①ゴムが密着せず失敗した場合は同じ手順でやり直してください(1回目のゴムはタイヤの中に入っても問題ありません)

②空気漏れが止まらない場合はバルブ穴からシーラントを 10ml 程度追加して、ゴムとタイヤの隙間にシーラントが入り込むようにパンク位置を下にして少し待ちます。